

明新館通信

第
11
号

山形県立上山明新館高等学校
山形県上市市仙石650番地
023-672-1700
平成20年12月5日(金)発行

ふれあいトークかみのやま2008 19名参加

～みつめよう 家族のあり方～

11月13日(木)に本校で開催されました標記の対話会に、本校を代表して生徒会(会長 米内未央)執行部19名が参加し、話し合いに参加しました。この対話会は、次のような趣旨で、上山防犯協会・上山地区少年補導連絡会・上山警察署の共催のもと開催されたものです。

全国各地で、ごく普通といわれる子ども達が様々な事件を起こしている。また、いじめ、家庭内暴力、不登校、キレル、無気力な子ども達の問題は深刻化している。

そこで、中学生、高校生、保護者及び少年に関わる関係機関団体の代表者等による対話会を開催し、大人も子どもも一緒に、今お互いに何をすべきか、できることはないかを考える機会としたい。

本校からは他に職員2名が参加。近隣の中学校からも大勢の生徒が参加して、話し合いがもたれました。今後とも、よりよい学校生活にするために生徒会が中心となって運動していくことを決意しました。



日本学生科学賞 第2等受賞

10月に山形県審査会で最優秀賞を受賞し、中央審査会に出品されていましたが、

「モリアオガエルの孵化酵素の性質を追って」(代表 片山晴子)

が第2等(優秀賞に該当)を受賞しました。昨年度は第3等でしたが、今年度は見事な成績を残してくれました。

研究内容の概要は次のとおりです。

科学・写真部では、モリアオガエルの孵化酵素がどのような酵素に属するのかを調べる為、タンパク質分解酵素の阻害剤を使用し実験を行った。その結果、泡巣を溶解する酵素は、システインプロテアーゼ、アスパラギン酸プロテアーゼ、コラゲナーゼの間ではない可能性が高くなった。また、阻害剤で泡巣が溶ける予想外の結果が出た為、その事について考察を行った。

なお、12月24日(水)に日本科学未来館(東京都江東区)でおこなわれます表彰式に出席します。

第2回学校評議員会 報告

11月19日（水）午後1時30分から行われました第2回目の会議は、主に「学校経営計画における具体的目標の中間評価」「各分掌の指導の重点の中間評価」を議題に話し合いが行われました。中間評価についてはおおむね承認いただきました。なお、話し合いの概要は以下のとおりです。また、出席者は、佐藤俊雄、松本佳子、尾形昭雄、土屋豊、木村利雄の各委員（片桐隆嗣委員は欠席）及び、校長、事務部長、教頭、各課主任、各学年主任、各科長、総務課員です。

質 問 ・ 意 見	回 答
○現在の段階の女子の就職率が50%台（普通科・情報経営科）であるが、今までと比べて低いのか。	平成15年ごろにも同じことがあった。昔は求人もなく受験すら出来なかった。今は厳しいながらも、受験は出来る状態である。ここ2年ぐらいいは良かったが、今年は厳しい。
○大学進学希望者はどのくらいか。	約110名。国公立は20名、短大は30名。
○インターンシップの状況は？	2種類あります。 1つ目は、山形市商工会議所主催のもの。普通科の2年生20名ほどが参加しています。2つ目は、専門高生対象のもの。2年生80名が参加しています。
<p>意見</p> <p>○市内で指導をなさってくれている方々の話によると、挨拶をしても返してくれない生徒が半分くらいいるとのこと。特に女子生徒の挨拶に問題があるようです。また、野球部員が木曜日にゴミ集めをしてくれているので、感謝しています。駅前の自転車置き場の状態には特に問題はなく、昨年度よりよくなっています。上山市の産業祭りへの参加やホオズキなどでの観光課とのかかわりなど、感謝しています。</p> <p>○各学年によってカラーがあると聞いているが、3年間ぐら이의年度対比での評価も見てみたいと思う。評価の中で、PTA参加が50%しかなくC評価であれば、目標を置き換えると言う工夫もあるのではないかと。全体的に深みのある資料を戴きたい。生徒指導の件では、無灯火でスピードを出している自転車がよく見かけられる。聞いた話だが、注意したら暴言を吐かれた人もいたという。指導願いたい。</p> <p>「明新館通信」は良い。生徒が生き生きと活動している様子が見える。ある高校の部活動を手伝っているが、生徒の顔色を見るといろいろ分ることがある。学校祭など、保護者と触れ合う機会がもっとあれば、声かけをしていきたい。</p> <p>○いろいろな会議に出ているが、明新館の生徒に対する評価はよくなって来ている。</p> <p>○図書館利用の目標は厳しい気がする。読む暇がないのではないかと。冊数よりも読んだ本をどう内面化するかが大事。</p>	
○明新館高校を甲子園に送ろうという組織があったが、どうなっているのか。	金銭的なものはありませんが、組織は今も残っています。甲子園に出場するようになったら、いつでも動くようになっています。
<p>意見</p> <p>○各課とも重点事項の量がすごい。学校としてやっていかななくてはならない事と目標に分けてメリハリをつけて設定したらどうかと思う。中間評価では、中間までどの程度の達成度を求めるのかを明確にしたらと思う。1年は長いようで短く、年間評価をしようと振り返ったらあと1ヶ月しかないこともあるので。</p>	
○地区のボランティア計画はどうなっているのか。	JRCを中心に授業や行事との兼ね合いを考えて行っています。成人式・老人会のワナゲ・夏祭り等々に参加しています。出来るだけ地域の期待に応えていきたいと思っています。
○スカートの丈を変更できないようにするにはどんな工夫があるのか。	短くしたい生徒はどんなことをしても短くしようとします。しつこく個人的に指導しています。

第3回は2月に行う予定です。